

第 12 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和 2 年 9 月 11 日 (金) 15:00 ~ 16:54
方 法	WEB 会議
出席者	委員) 今井委員、大槻委員、川本委員、根本委員、幸村委員 計 5 名 事務局) 佐藤局長、副島管理部長、村本担当部長、安武公金管理課長、山村資金運用担当課長、赤岩課長代理、落合課長代理、有井主任、島寄主任 計 9 名
欠席者	なし
議 題	1. 邦銀の本決算を踏まえた預金についての対応 2. 外国銀行の本決算等を踏まえた預金についての対応 3. 債券発行体の動向等を踏まえた債券運用についての対応 4. 新たな運用・保管先の検討
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第 12 回東京都公金管理アドバイザー会議の非公開の決定 事務局 本会議は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑みて対面の接触を回避する必要があるため、非公開にて実施することとした。 委員 了解。</p> <p>(3) 議題 1 「邦銀の本決算を踏まえた預金についての対応」 事務局 預金先金融機関（邦銀）の経営状況について、決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（邦銀）の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関（邦銀）の評価内容については、適正なものである。 委員 継続する低金利環境に加え、コロナ禍による銀行経営への影響を引き続き注視していくことが必要。 委員 預金先の日常監視について金融情勢を踏まえて強化することは望ましい対応。 事務局 適正な評価が継続して可能となるように今後も取組を進めていく。</p> <p>(4) 議題 2 「外国銀行の本決算等を踏まえた預金についての対応」 事務局 預金先金融機関（外国銀行）の経営状況について、決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（外国銀行）の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関（外国銀行）の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものである。 委員 コロナ禍で人の移動が制限され、より一層外国銀行の情報の入手が難しくなっていることを踏まえると慎重に取引をした方が良い。</p> <p>(5) 議題 3 「債券発行体の動向等を踏まえた債券運用についての対応」 事務局 債券発行体の経営状況について、決算状況を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、</p>

債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものである。

(6) 議題4「新たな運用・保管先の検討」

事務局 今後の金融情勢等を踏まえた新たな運用・保管先の検討内容を報告した。

委員 銀行業界全体に対する先行きの見通しがかなり不透明になってきていることを踏まえることも必要。

委員 銀行側の預金調達ニーズが一層低迷し、預入先が限られつつあるなか、選択肢を広げる検討には賛成。

委員 この環境下では、改めて安全性の確保が重要であることを十分意識すべき。

事務局 安全性の観点から短期的な預金代替の確保と中長期的な課題とを時間軸を分けて検討していく。

(7) その他

委員 Web 会議用に資料の情報量は圧縮してほしい。

以上